

歴史的景観の現代的再生

生活と観光

◆目的・概要

この授業は阪南大学国際コミュニケーション学部の吉兼秀夫先生に講義をお願いしました。

本講義は①地域が自らの規範に基づいて観光まちづくりを行う自律的観光のあり方について理解し、観光を通して身近な生活風景、生活文化を再評価し、表現する方法を身につける、②奈良女子大学周辺地域を新たな観光対象の視点で捉え、観光を通じたまちづくりへと展開していく能力を身につけることを目的としています。

講義では、観光が従来のマス・ツーリズムに加えて新しい観光であるオルタナティブ・ツーリズムをめざすべきであること指摘し、オルタナティブ・ツーリズムの事例としてエコツーリズム、グリーン・ツーリズム、ヘリテージ・ツーリズムなどの国内外の事例を映像資料を使いながら紹介しました。また、大学周辺の魅力スポットを各自収集し、これを用いてまち歩きプランを作る課題で発表をしました。

◆スケジュール

日程	内容
10月	観光の現状について
10～1月	オルタナティブ・ツーリズムについて
2月	奈良女子大学周辺の観光まち歩きプラン作りと発表

◆取組成果

課題は、エコミュージアムにとって大切な地域の宝探し（地域の記憶の井戸掘り）をまち歩きコースづくりとして取り組みました。グループに分かれ、各班2時間のまち歩きコースを4本作成。そのうち1本は奈良女子大学構内を含んだルートにします。コースは対象を具体的に記して、範囲は奈良女子大学周辺としています。

絵コンテにすることをルールとしたため、ストーリーをよく考えた作品に仕上がったものが多く、ほとんどの学生が自分のストーリーのコースを実際に歩いて試しており、現実味のある内容となっていました。コラージュ風の作品もあり、とてもドラマチックなストーリー展開で楽しめました。若者が主人公の作品が多かったものの中年夫婦や親子連れなどのストーリーもあり、対象はバラエティーに富んでいました。

◆今後にむけて

全てのコースに対して人気投票を行い、学生同士の評価を行うことをすれば、まち歩きコースづくりへの認識がさらに深まったと思われます。次回は一番人気のコースを全員で歩き、コースの修正をくりかえし行って完成度を高める試みも行いたいと考えています。また、質疑、ワークショップをもっと増やした講義にしたいと考えています。

◆関連科目

世界遺産と地域計画、歴史的町並みの保存・再生実践講座Ⅰ・Ⅱ、ランドスケープデザイン論、建築設備学Ⅰ、環境



授業の様子



課題発表の様子



手書き絵コンテによるまち歩きプラン



コラージュ風まち歩きプラン